

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 多機能型事業所シンフォニー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		通所する子の特性に応じて当日の配置を工夫しています。	天井の高さや仕切りの少ない開放的な空間づくりを心がけています。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者に合わせて体制を整えています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		一人一人の特性に応じて工夫しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		振り返り、話し合いを重視しています。	ちょっとした話し合いでも気軽に言い合えるように雰囲気づくりから大事にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者説明会やランチ会を実施し取り入れています。	連絡帳や送迎時など普段からのコミュニケーションを大事にしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		社外の総合アドバイザーに助言をお願いしています。	正式な第三者評価は今後の検討課題です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回の施設内研修を実施しています。	施設外の研修参加も適宜判断して参加可能にしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもと保護者のニーズや状況などを皆で工夫して計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		聞き取り時のシートを活用しています。	聞き取り情報更新して検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ全員で共有しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		話し合いをし楽しめる工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節の行事、遊びなど、子どもたちが楽しく学ぶツールを準備しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動で役割分担をしたり、こまめに声かけしたり参加意識を持ってもらえるようしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日の振り返りも含め確認しています。	積み重ねでより良い支援になるようしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		時間が足りない時は翌日に持ち越して行っています。	記録も含め休んでいた職員も共有できるようしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録と話し合いが結びついて習慣化しています。	話し合いとセットで振り返りに活かしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		しっかり聞き取れるよう役割分担をしています。必要に応じて電話でも聞き取りをしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者を通じてや、直接やり取りもしています。	保護者を中心としたやりとりで対応。医療的な詳細は看護師が対応し、他職員と共有しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		他事業所とも共有しています。	支援学校進路係とも共有し、直接シンフォニー生活介護に移行するときだけでなく他事業所ともやりとりしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後の検討課題です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後の検討課題です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃からコミュニケーションに努めています。	連絡帳、電話、Lineと様々な手段でコミュニケーションに努めてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて最適な職員が対応しています。	多様な職員がいるのでいろいろな視点から対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者説明会やランチ会を実施し、連携支援につなげています。	行事・イベントも活用し回数も増やします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応するように心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		連絡帳、お知らせ、インスタにて発信しています。	事前情報は紙面で。活動の様子等は写真やインスタを活用しています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			できる工夫を重ねていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○			となりの生活介護で販売会等があり、地域との交流があります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者には保護者説明会等で周知に努めてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に1回以上実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待委員会の設置、年1回行っている。定期的に話し合いをしています。	定期的に研修で取り上げています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		法人内で研修を実施しています。	必要ならばきちんと手続きを踏んで行います。まずは代替手段を考えます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギー以外でも指示書や、保護者からの手順書はいただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有しています。	振り返りでも検討して事例集を残しています。